

## LCが仲介 糸島の団体贈る

ミャンマーへの支援を2007年から続けている福岡ホストライオンズクラブ（福岡市、木原清会長）のメンバーが19日、無償でおもちゃ修理などを行う糸島市のボランティア団体「おもちゃ病院伊都国」（波多江保彦代表）から、ミャンマーの孤児らに贈るおもちゃを受け取った。

クラブは学校建設や老人施設への救急車寄贈、教育支援など、ハードとソフトの両面から同国を支援。おもちゃの寄贈は今年1月のクラブ例会で、波多江代表が卓話したのをきっかけに実現した。

伊都国は07年の活動開始以来、子どもらに物を大切に育てようとして、修理のほか、子どもの成長などによって不要になったおもちゃを点検、整備して福祉施設などに贈る「おもちゃ箱」などのリユース事業も展開している。今回は、

事業を担当する清水紘子さん(71)らが中心になって、ピアノやパズルなど、ミャンマーの子どもらが喜びそうなおもちゃ3箱分を集め、今月末に同国に渡る木原会長(70)と瀧野隆さん(74)に託した。

「今から、子どもたちの喜ぶ顔が目に見えかぶ」と瀧野さん。波多江代表(78)は「お役に立ててうれしい」と話していた。

（佐藤弘）



おもちゃを受け取る福岡ホストライオンズクラブの代表ら（左の2人）